

山陽物産株式会社

多機能自動包装機の導入による増産体制の構築及び品質の向上計画

ホテル客室等に設置するカミソリ、ヘアブラシ等の消耗品を製造販売している。多機能自動包装機の増設により、販売機会の喪失を解消するとともに、安全・高品質・付加価値商品への対応を進め、新規需要開拓等のさらなる拡販を図る。

事業取組みの経緯

2020年の東京オリンピック開催や関西地区でのレジャー施設の業況好調等を受け、ホテル業界は近年成長速度を増しており、それに伴い当社の受注及び引き合い状況も伸展している。しかし、所有する自動包装機5台をフル稼働しても受注数量が1日の生産能力を大幅に上回っており、欠品や納期遅延で大口依頼を断るなど販売機会を失っていた。また、ホテル稼働率を大きく押し上げる要因である海外からの旅行者の増加に対して新たな製品の提案を求められたため、和紙フィルムを使用した商品の提案・対応を実施、需要は拡大傾向にある。しかし、既存の自動包装機では、熱圧着部分の品質精度に課題があり、和紙フィルム袋は外注し、仕入れた袋を当社内で手加工により包装していた。これが自動包装機で生産できるようになると増産が可能となり、併せて品質も向上するため、早期に対応する必要があった。

実施内容

次の設備を導入した。

(1) 自動包装機サーボラッパー

本機でヘアブラシ、カミソリ、ヘアバンドなど多品目を包装できるため、部屋置きされているホテルアメニティをほぼ網羅できる。

(2) サーマルプリンタ

フィルムに簡単な印刷をしながら包装する機能があるため、既製品のフィルムに小ロットでの名入れを可能とする。

(3) 静電気除去装置、オートチェッカー

増産によるコストダウンを実現し、より多くの機能を備えた機械による品質向上、商品の付加価値向上につながる。

事業取組みの成果

導入した機械によってヘアブラシ、カミソリ、ヘアバンドなどホテルアメニティの包装をほぼ網羅できた。品目によって1分間で包装できる数量は違うが、概算で1日約2万個の増産が可能となり、生産能力が20%程度向上した。これによって既存得意先からの依頼に対して納期遅延なく対応できるようになったほか、新規開拓の営業も実施できるようになった。

今後の活動予定

新たに和紙を使用したシリーズ「J・モダンシリーズ」を開発し、まずは国内の日本風旅館及びインバウンド客が見込まれるホテルへの拡販を実施、その後台湾及び東南アジアへの拡販に取り組む。

また、現状個人経営のホテルにおいてグループホテルからの買収が増加しており、今後グループホテルへの販路開拓が当社にとって重要となってくる。生産能力の向上をもってグループホテルへの営業活動にも積極的に取り組み、業容規模の拡大につなげていく見通しである。



自動包装機サーボラッパー



サーマルプリンタ



アメニティ商品例

山陽物産株式会社

■代表者／代表取締役 武内 英治

■本社住所／〒791-3102 愛媛県伊予郡松前町北黒田176-1

■TEL／089-961-6668

■FAX／089-961-6568

■URL／<http://www.sanyo-bussan.jp/>

■メール（代表）／sanyou34@sanyo-bussan.jp

■設立年月日／平成3年3月16日

■資本金額／1,000万円

■従業員数／42名

■業 種／その他製造業

■事業拠点／本社工場・物流センター 愛媛県伊予郡松前町北黒田176-1

企業概要

メーカー機能をもつ商社として、ホテル用品全般の取り扱いをしている。全国のホテル旅館や温浴施設等を得意先とし、ハブラシ、カミソリ、ヘアブラシを中心に、スリッパやレディースアイテム等浴室・客室アメニティを販売している。カミソリやヘアブラシ等は国内外信用のあるメーカーのものを、徹底した衛生管理のもと当社でパッケージングを行っている。

主要取引先

サンエース株式会社、サン・パシフィック・エンタープライズ株式会社、株式会社藤栄、株式会社加納商店、株式会社ダイツウ

主要商品



各種アメニティ製品は、「高品質」を重視したものを選びすぐ取り扱っており、ペニンシュラホテルやコンラッドホテル、ハイアットホテル、シェラトンホテル等の海外有名高級ホテルチェーンへの納入実績がある。また、エンドユーザーのニーズに応じたオリジナル製品の開発や、海外ブランドアメニティの取り扱いを行う等、精力的に業界へのアプローチを行っている。

主要設備

多機能自動包装機、自動包装機、サーマルプリンタ

担当者	業務課課長 角藤 政人
連絡先	089-961-6668
連絡先E-mail	kaku@sanyo-bussan.jp